

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

2次元から3次元の時代へ



～時短・生産性を向上させる工夫～

①

最近、製品がどんどん小型化、複雑化しているから、設計が大変だよ。設計開発部署のみんなが長時間労働だ・・・。

設計で大変なことは为什么呢。

なんとかならないものか

②

うちは2DCADで設計をしているんだけど、設計図から試作品を製作する場合、図面の読み取り、加工方法の検討などの工程が多くあり、時間がかかるんだ。設計書が出来れば、すぐに製造開始というわけにはいかないんだよ。

設計書が読みにくいとやり直しも多くなってね

③

それでは、2Dではなく3DCADを導入してはどうでしょうか。3DCADでは立体的なモデルを作成するので、製造者も直感的に設計を読み取ることが可能となり、作業効率が良くなるはずですよ。

導入には助成金を活用しましょう

そんなことができるのか

④

助成金を活用し、3DCADを導入したところ、設計図の読み取りが容易になり、試作機の製造がスムーズになりました。また、3Dモデル上で部品干渉も確認できることから、試作段階での手戻りが減りました。

業務効率が改善し、長時間労働が解消した

◇：コンピュータを使って設計・デザインすること。2D→平面で考える。3D→立体的に考える。

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「36協定上限引下げ★+設備投資★★★」に該当

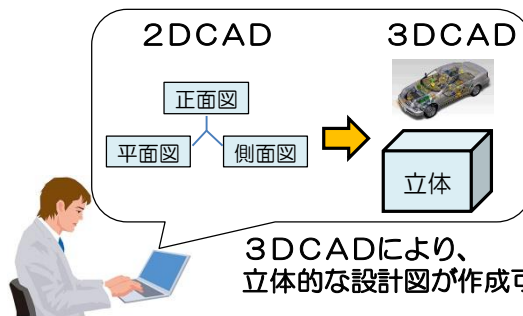
取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：22名

従来は2DCADを使用し、製図を行っていたが、試作機を作る際、試作機の製造者が図面を読み取り、加工方法の検討、加工データの作成を経てから、試作品の加工に入るというように、いくつかの工程があり、時間がかかっていた。

<3DCADシステムの導入※>

- 立体的な設計図が作成可能な3DCADを導入した。
- 試作機の製造を行うため、3DCADデータと連携が可能な3Dプリンターを導入した。



3DCADにより、立体的な設計図が作成可能！

【3DCAD導入費用を助成！】

- 時間外労働等改善助成金
- <時間外労働上限設定コース>
- 助成率上限 80%
- 助成額上限 200万円

◆助成金には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・3DCADでは立体的なモデルのデータを作成するため、体積・表面積・質量・重心等の情報を算出することが可能となり、部品同士が干渉しないか検証できることから、開発終盤での手戻りが減少した。
- ・3Dプリンターにより3DCADのデータから成型機で試作機を完成できるようになった。
- ・結果として、長時間労働が解消し、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com